

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションを使用して適切な空間を作っています	
	②	職員の配置数は適切である	○			欠員が出た際には他事業所からヘルプをお願いする等の対応をしています
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			階段に手すりはあるが、スロープ等のバリアフリーは難しい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			運動遊びが出来る環境が整っていない。クッションフロア等の整備を整えていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々の情報交換を通して対応等を振り返る事が出来ています	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		利用者様にとってより良い療育を提供出来るように、保護者様の意向を汲み取り改善できるように職員間で話し合いを行っています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		運営会議棟を実施しています。スタッフ間で話し合いを行い、業務や環境改善に努めています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			適切な療育を行う為の研修を設けています。
適切	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		児童ニーズだけではなく、保護者様のニーズもふまえた内容で作成する事を大切にしています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもに合わせたツールを使用する事が出来ています。	

な 支 援 の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様に利用児童様に必要な項目及び具体的な内容の説明も理解して頂ける様に丁寧にご説明しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個々に沿った支援を丁寧に必要に応じて障がい特性の配慮も行い、支援提供しています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議の場を設けて利用者様に合わせた立案をしています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者様の成長に応じた活動や興味や関心に基づいた、活動プログラムを作成している。マンネリ化や固定にならない様に打ち合わせ等を行い実施しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントをしながら計画作成を行っています。	個別活動の割合が多いので集団での活動も保護者様やご本人のニーズを踏まえ必要に応じて作成していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日支援前に打ち合わせを行っている。情報の共有やその日の利用児童様の活動を全体で把握しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		一日の終わりに職員間で支援の振り返り等を共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援において、記録の作成を行っている。利用児童の課題や改善点を考える際に、用いて改善や検証を行っています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行っている。見直しが必要な場合は具体的にご説明しています。	
	関 係 機 関 や 保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者会議には積極的に参加しています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			今後必要なサービスを提供する為に、関係各位と情

護 者 と の 連 携					報提供を行い、連携していきます。	
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		今後の保護者様の対話の中で必要性を感じている。有効な支援方法等を具体的にご家庭でも出来るような形で汎化していきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご丁寧に説明しております。不明な点があれば都度ご対応して説明しています。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ご本人様の提供すべき支援をする為にアセスメントを行い把握し、児童発達支援計画に基づいて同意して頂ける様に丁寧に説明を行っています。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様の悩みに対して相談を行っています。また、保護者様の困り感が解消できる様に原因を見つけ、助言も出来る範囲で行っています。	

	③5	父母の会の活動を支援、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		利用児童様や保護者様の相談に関しては迅速に聞き入れる対応は出来ている。また相談に対して必要な対応も早急に改善して行っています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやSNSを用いて活動概要や事業所の情報等を発信しています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて配慮が必要な方には情報伝達のための配慮を行っています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定している。訓練等も場面想定を行い実施。実施後の評価や改善等もしています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害の発生に備え、避難訓練等を行っています。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートに服薬の情報等を記載して頂き、状況を把握しています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所で情報を共有して事故防止に努めています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実施して、理解を深めている適切な対応が出来る様に努めています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌屯田校 保護者等数（児童数）：4名 回収数：4名：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	0	3	通所したてで把握できておらず申し訳ございません。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	0	0	2		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	0	0	1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	2	0		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1	2	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	0	0	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	0		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。